

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
大事業	201	土木事業			中事業	01	土木事務事業		
小事業	01	土木事務事業						他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	<p>■広域道路ネットワークの連携強化 (日常的なつながりの強い福井市との連携を強める道路網の整備、福井港丸岡インター連絡道路の整備など、骨格的道路のネットワークを促進する)</p>
---------------	---

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-2	交通基盤の充実		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
土木行政の円滑な推進、災害の発生防止、道路・港湾の適正な利用、正常な機能の維持等を総合的に進める。	
【事業の概要】	
○旅費 (6名)	150 千円
○需用費 (説明会用お茶代、混合油代)	9 千円
○使用料及び賃借料	270 千円
有料道路通行料	14 千円
大型コピー機リース料	256 千円
○負担金	675 千円
研修参加	7 千円
県用地対策連絡協議会	6 千円
県道路協会	186 千円
新九頭竜橋建設促進期成同盟会	24 千円
日本道路協会会費	30 千円
川西国道建設促進期成同盟会	53 千円
県国道連絡協議会	27 千円
県福井バイパス道路建設促進協議会	9 千円
日本港湾協会	50 千円
県港湾協会	113 千円
福井港・丸岡インター連絡道路整備促進協議会	170 千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	1,104	3,890	2,173	△ 2,786
人件費	3,421	3,343	3,854	79
総事業費	4,525	7,233	6,027	△ 2,707
人員				
正職員	0.51 人	0.50 人	0.55 人	0.01 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.51 人	0.50 人	0.55 人	0.01 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	4,525	7,233	6,027	△ 2,707

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標			目標	0	0	0	0	0
独自指標	市内交通事故死亡者数	%	実績		2	3	6	5
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
独自指標	日本港湾協会総会参加	人	実績		1	1	1	1
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		港湾事業促進に対する要望会議の参加数						
指標			目標					
独自指標	福井県道路協会総会参加	人	実績		1	1	1	1
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		県内道路事業促進に対する要望会議の参加数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標に基づく評価		<p>国、県が実施する幹線道路整備等の事業促進の目的意識を持ち事業に取り組んだ結果、概ね目標を達成しているが、引き続き都市基盤整備のための事業促進に向け、行政運営に取り組んでいきます。</p>						

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
成果と改善点	各種協議会・同盟会等と事業連携を図ったことにより、円滑な事業遂行が行えました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
大	事業	201	土木事業	中	事業	06	県営事業負担金		
小	事業	01	県営事業負担金					他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 地方財政法第27条の規定に基づき、福井県が行なう道路・河川事業等について、事業毎の負担率において市が負担し、事業進捗を図る。

**【事業の概要】**  
 (負担率) 県単道路改良事業5/100又は1/10、県単雪寒道路整備事業2/10、公共雪寒地域道路工事(防災・安全交付金)1/6、公共急傾斜総合流域防災事業(防災・安全交付金)0.5/10、単急傾斜地崩壊対策事業1/10、県単河川局部改良事業1/10、消雪設備維持管理4~90%

○県営事業負担金 35,775 千円  
 県単道路改良事業(三国丸岡停車場線外9箇所) 10,023 千円  
 県単雪寒道路整備事業(板倉高江線外2箇所) 6,782 千円  
 公共雪寒地域道路工事(磯部島西瓜屋線外4箇所) 17,000 千円  
 公共急傾斜総合流域防災事業(三国:メヶ脇地区) 700 千円  
 県単急傾斜地崩壊対策事業(三国:山王3丁目地係) 782 千円  
 県単河川局部改良事業(磯部川:新九頭竜地係) 241 千円  
 消雪設備維持管理(南横地芦原線外3箇所) 247 千円

(前年度繰越)  
 ○県営事業負担金(県単道路改良事業等、5箇所) 9,567 千円

(翌年度繰越)  
 ○県営事業負担金(県単道路改良事業等、4箇所) 4,400 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	45,342	35,228	24,672	10,114
	人件費	1,476	1,471	841	5
	総事業費	46,818	36,699	25,513	10,119
人員	正職員	0.22 人	0.22 人	0.12 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.22 人	0.22 人	0.12 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	18,900	18,200	0	700
	一般財源	27,918	18,499	25,513	9,419

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	回	目標	4	4	4	4	4
			実績		4	4	4	4
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		県事業の内容確認の協議回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	市内県道の事業内容把握により、市内道路ネットワークの整備に生かすため目標協議回数を設定し、目標を達成しています。引き続き、協議により円滑な事業運営に取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
成果と改善点	坂井市内の県が管理する道路及び河川を整備することで、利便性や安全性が図られました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
大	事業	201	土木事業	中	事業	11	道の駅管理運営事業		
小	事業	11	道の駅管理運営事業					他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

<b>【事業の目的】</b>	
道路利用者の利便性の向上と安全で快適な道路交通環境の形成、並びに地域の振興に寄与することを目的として、道の駅みくに、道の駅さかいを適正に管理運営する。	
<b>【事業の概要】</b>	
○需用費	3,683 千円
消耗品費 (保健衛生用品等)	477 千円
光熱水費 (電気料・上下水道料)	3,122 千円
修繕料	84 千円
○役務費 (電話料)	70 千円
○委託料	5,196 千円
保守点検委託料 (消防設備・自動ドア)	75 千円
清掃委託料	81 千円
維持管理委託料	5,040 千円
○使用料及び賃借料 (CATV、インターネット、NHK受信料)	205 千円
○負担金 (近畿道の駅連絡会)	94 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農産物直売所 (ふれあいパーク三里浜)</li> <li>■道の駅(みくに・さかい)管理運営</li> </ul>
-----------	---

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	9,248	8,875	8,819	373
	人件費	2,817	3,008	2,242	△ 191
	総事業費	12,065	11,883	11,061	182
人員	正職員	0.42 人	0.45 人	0.32 人	△ 0.03 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.42 人	0.45 人	0.32 人	△ 0.03 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	789	739	531	50
	一般財源	11,276	11,144	10,530	132

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	道の駅みくに利用者数	万人	目標	30	30	30	30	30
			実績		29	29	32	32
			達成率(%)	0.0	96.7	96.7	106.7	106.7
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	ほぼ目標は達成しています。来年度以降も目標達成できるよう取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	道の駅さかいについては、地域交流センターいねすとあわせ指定管理などを検討し、事務の効率性をさらに向上させる必要があります。		
成果と改善点	道の駅みくに・道の駅さかいの適正な運営及び維持管理に努めました。 道の駅みくにについては、東尋坊や海水浴場などへの交通路に位置しており、隣接施設であるふれあいパーク三里浜も含め、観光を重視した運営の検討が必要です。また、道の駅さかいについては、隣接施設のいねすを含め、農業振興を重視した運営の検討が必要です。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	01	道路橋りょう総務費
大事業	051	道路橋りょう総務事業			中事業	01	道路橋りょう総務事業		
小事業	01	道路橋りょう総務事業						他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	道路法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
道路に関する事務的な管理を適正に行うことにより、地域社会の発展、住民福祉の向上に寄与する。	
【事業の概要】	
市道借地借上料等の支払い及び道路台帳の管理を行う。	
○委託料	8,016 千円
道路台帳システム・V-n a s 保守点検委託料	536 千円
道路台帳作成・修正業務委託料 (新規0.97km、修正1.77km)	4,235 千円
道路台帳管理システム機器入替作業委託料	3,245 千円
○使用料及び賃借料(市道敷土地借上料)	8,528 千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	16,544	13,434	12,824	3,110
人件費	3,354	3,008	2,803	346
総事業費	19,898	16,442	15,627	3,456
人員				
正職員	0.50 人	0.45 人	0.40 人	0.05 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.50 人	0.45 人	0.40 人	0.05 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	19,898	16,442	15,627	3,456

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	市道（延長）	Km	目標					
独自指標			実績		800	799	798	797
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		市道の延長						
指標	道路台帳修正業務	千円	目標					
独自指標			実績		4,235	4,304	3,694	4,990
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	道路台帳を整備更新し安全な道路維持に努めていきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
成果と改善点	道路等の適正な事務管理が図られました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	



令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路橋りょう維持費
大事業	001	道路橋りょう維持事業			中事業	01	道路橋りょう維持事業		
小事業	01	道路橋りょう維持事業						他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■道路橋りょうの整備・維持
---------------	---------------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-1	市街地・住環境の整備		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
道路環境を常に良好な状態に維持することにより、安全、円滑で快適な交通を確保する。

**【事業の概要】**  
市道の舗装、側溝などの道路構造物の維持補修業務、街路樹剪定・道路路肩の除草など道路施設を適正に保持する。

○賃金(地下道管理人)	84千円
○需用費	17,951千円
消耗品費	196千円
光熱水費(電気料、上下水道料)	3,043千円
修繕料(138箇所)	14,712千円
○役務費(専用回線使用料等)	32千円
○委託料	22,026千円
樹木等管理委託料	11,497千円
除草委託料	894千円
踏切維持管理委託料	2,648千円
道路施設維持管理委託料	6,987千円
○原材料費(修繕用材料)	1,238千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	41,331	150,133	60,870	△ 108,802
人件費	14,087	22,061	19,129	△ 7,974
総事業費	55,418	172,194	79,999	△ 116,776
人員				
正職員	2.10 人	3.30 人	2.73 人	△ 1.20 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	2.10 人	3.30 人	2.73 人	△ 1.20 人
財源内訳				
国県支出金	0	3,410	10,782	△ 3,410
その他特定財源	30,849	129,764	30,777	△ 98,915
一般財源	24,569	39,020	38,440	△ 14,451

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標			目標	0	0	0	0	0
独自指標	街路樹に関する苦情	件	実績		20	11	9	3
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標	0	0	0	0	0
独自指標	一般車両タイヤパンク件数	件	実績		2	3	2	2
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標	180.0	180	180	180	180
独自指標	修繕件数	件	実績		138	917	163	154
			達成率(%)	0.0	76.7	509.4	90.6	85.6
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標に基づく評価	市道の維持管理をきめ細かく行い、施設の長寿命化に貢献できました。今後も道路施設の修繕や樹木管理などに対し迅速な対応に努めていきます。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>有効性に課題</p>			<p>平成30年度に策定した個別施設計画を基に橋りょう・トンネルの修繕が必要となります。</p>
<p>成果と改善点</p>	<p>市道の維持管理をきめ細かく行い、施設の長寿命化に貢献できました。今後も道路施設の修繕や樹木管理などに対し迅速な対応に努めていきます。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路橋りょう維持費
大事業	051	除雪対策事業			中事業	01	除雪対策事業		
小事業	01	除雪対策事業						他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■除雪対策
---------------	-------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-2	安全・安心対策の充実		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-1	市街地・住環境の整備		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有		道路除雪基本計画、道路除雪実施計画		

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
冬期間の積雪時における主要道路及び生活道路の交通を確保し、雪に強い道路づくりを進めるため、有効で適切な除雪作業を実施する。

**【事業の概要】**  
道路除雪基本計画・実施計画に基づき、市道約800kmを市保有除雪機械及び民間企業からの借上げ機械により、道路除雪及び歩道除雪を行うとともに、消雪設備等の既存施設の修繕により適正管理を行う。

○需用費	10,964千円
消耗品費	693千円
燃料費	11千円
食糧費	15千円
光熱水費(電気料、上下水道料)	4,349千円
修繕料	5,896千円
○役務費(自動車車検・保険料等)	2,073千円
○委託料	31,379千円
除雪業務委託料(94社、174台)	22,502千円
融雪装置点検委託料	8,019千円
遠方監視制御装置機器点検委託料	858千円
○使用料及び賃借料(機械リース45台、土地借地等)	40,026千円
○工事請負費(融雪装置更新工事、井戸点検整備工事等)	19,453千円
○備品購入費(除雪ドーザ購入8t級等)	19,000千円
○除雪機械整備費等補助金	11,776千円
道路除排雪機械整備費補助(6台)	11,501千円
雪に強いまちづくり事業費補助(1区)	275千円
○公課費(車両重量税4台)	448千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	135,119	183,599	787,703	△ 48,480
人件費	7,781	10,028	9,459	△ 2,246
総事業費	142,900	193,627	797,162	△ 50,726
人員				
正職員	1.16 人	1.50 人	1.35 人	△ 0.34 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	1.16 人	1.50 人	1.35 人	△ 0.34 人
財源内訳				
国県支出金	24,048	27,539	130,900	△ 3,491
その他特定財源	71	26,873	115	△ 26,802
一般財源	118,781	139,215	666,147	△ 20,433

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	除雪機械稼働時間	時間	目標					
独自指標			実績		50	35	43,454	537
		達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明		目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明		目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明		目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標に基づく評価	降雪の状況により、業務量が変わるため、過去実績との単純な比較はできませんが、引き続き、コスト削減、交通障害がないように努めていきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			将来的に除雪協力企業などオペレーターの減少が懸念されるため、企業への呼びかけや講習会等の情報を発信する必要があります。
成果と改善点	除雪協力企業が購入する除排雪機械の整備に要する経費に対する補助、または区が区内狭あい道路の除雪をする除雪機械の購入に要する経費に対する補助制度を利用してもらい、除雪作業の準備に万全を図りました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	除雪車やオペレーターなどを確保しながら市道除雪を実施します。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路橋りょう維持費
大	事業	101	道路橋りょう補助事業		中	事業	06	橋りょう長寿命化事業	
小	事業	01	橋りょう長寿命化事業					他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-2	安全・安心対策の充実		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	100,487	38,167	75,896	62,320
	人件費	6,104	3,877	3,363	2,227
	総事業費	106,591	42,044	79,259	64,547
人員	正職員	0.91 人	0.58 人	0.48 人	0.33 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.91 人	0.58 人	0.48 人	0.33 人
財源内訳	国県支出金	55,000	20,790	41,743	34,210
	その他特定財源	38,500	7,200	32,400	31,300
	一般財源	13,091	14,054	5,116	△ 963

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、予防保全的な補修対策を実施することにより、橋梁の長寿命化、道路交通安全・安心及び防災面における道路網の確保を図る。	
【事業の概要】	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体事業費 200,600千円</li> <li>橋梁修繕数 22橋</li> <li>事業年度 R元～2年</li> </ul>	
○委託料	46,844 千円	
橋梁補修設計業務委託料	36,029千円	
橋梁定期点検業務委託料	10,815千円	
○工事請負費	53,643 千円	
三国41号橋外8橋補修工事		
(翌年度繰越)		
○委託料(測量設計業務委託料)	10,000 千円	
○工事請負費(橋梁修繕工事 13橋)	90,100 千円	

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	百万円	目標					
			実績		100	38	76	41
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		目標設定がそぐわない指標のため実績のみ記載						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	国の追加補正分を令和2年度に繰り越ししているが、令和元年度の補修予定箇所は、予定通り完了しています。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>効率性に課題</p>		
<p>法改正に伴う道路施設の点検義務化により、点検費用とそれに伴う修繕等の費用の増加が懸念されます。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>当初計画どおりの事業推進が図られ、道路交通の安全・安心及び防災面における道路網の確保が図られました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>	<p>点検結果を基に優先順位をつけながら橋りょうの修繕を実施します。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	001	道路改良事業			中事業	01	道路改良事業		
小事業	01	道路改良事業						他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備			建設課
旧総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業		
根拠法令	有	道路法、道路構造令				
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
市道の拡幅、舗装、道路側溝等の工事を実施することにより、安全、円滑で快適な交通環境を確保する。

**【事業の概要】**

- 需用費(消耗品費、資料購入代) 530千円
- 役務費 2千円
- 委託料 6,885千円
- 工事請負費(84箇所) 229,842千円
- 補償、補填及び賠償金 744千円

上新庄・下新庄道路改良工事外物件移転補償料

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	238,003	220,652	276,345	17,351
	人件費	10,733	9,359	10,861	1,374
	総事業費	248,736	230,011	287,206	18,725
人員	正職員	1.60 人	1.40 人	1.55 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.60 人	1.40 人	1.55 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金	0	0	1,170	0
	その他特定財源	125,700	194,600	0	△ 68,900
	一般財源	123,036	35,411	286,036	87,625

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	市道での交通事故発生件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		30	63	49	79
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	用地買収事務	件	目標					
			実績		0	2	9	3
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	市道の改良及び未改良区間を整備することにより、安全、円滑で快適な交通環境整備に取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
道路施設等の老朽化により、地元要望件数が増加傾向にあります。予算縮減のなか厳しい対応に追われている状況です。			
成果と改善点	多くの道路改良工事要望の中から、緊急性や費用対効果を考慮し工事を実施しました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	緊急度、費用対効果などを考慮しながら市道整備を実施します。



令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	051	区環境整備補助事業			中事業	01	区環境整備補助事業		
小事業	01	区環境整備補助事業						他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備	建設課	
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、建設課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
行政区が管理する道路及び排水路の整備を進めることにより、各行政区の生活環境の向上を図る。

**【事業の概要】**  
行政区が管理する道路・排水路等の整備工事について、同一会計年度に1回(補助金限度額200万円)を補助する。(補助率1/2)

○補助金 4,777千円

- ・三国地区
  - 安島区 (区道改良)
  - 新保区 (区道舗装)
- ・丸岡地区
  - 油為頭区 (区道舗装)
  - 一本田中区 (区道側溝改良)
  - 上安田区 (区道舗装)
  - 野中山王区 (区道側溝改良)
  - 猪爪新2区 (区道舗装)
  - 山崎三ヶ区 (区道側溝改良)
- ・春江地区
  - 沖布目区 (区道側溝改良)
- ・坂井地区
  - 鯉区 (区道舗装)

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	4,777	5,367	8,845	△ 590
人件費	3,488	1,136	3,994	2,352
総事業費	8,265	6,503	12,839	1,762
人員				
正職員	0.52 人	0.17 人	0.57 人	0.35 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.52 人	0.17 人	0.57 人	0.35 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	8,265	6,503	12,839	1,762

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標			目標	0	0	0	0	0
独自指標	交付申請待機件数	件	実績		0	0	0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明	予算不足による待機件数						
指標			目標					
独自指標	補助金支出件数	件	実績		10	8	16	18
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明	補助件数（行政区数）						
指標			目標	5,000	5,400	9,400	9,400	9,600
独自指標	補助金支出実績	千円	実績		4,777	5,367	8,845	10,607
			達成率(%)	0.0	88.5	57.1	94.1	110.5
	指標の説明	補助金額合計						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標に基づく評価	行政区の要望に応える結果となっています。行政区が自らの計画及び資金にて行う事業は、地域への誇りと満足度に繋がることから、引き続き目標達成できるよう取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			地元管理の道路施設等は老朽化が増えてきています。予算縮減のなか厳しい対応に追われている状況です。
成果と改善点	区が主体となって環境整備を行うことにより、区内の環境に対する意識向上が図られます。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	101	道路改良補助事業			中事業	01	末政・随応寺線道路改良事業		
小事業	01	末政・随応寺線道路改良事業						他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成	建設課	
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】</p> <p>丸岡町市街から春江町市街を結ぶ幹線道路である末政・随応寺線は、大型商業施設が隣接したことなどにより交通量が増加していることから、道路拡幅と歩道設置を行うことにより、渋滞解消と通学する児童・生徒の安全確保を図る。</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体事業費 2,050,000千円 ・事業年度 H11～R3</li> <li>全体延長 L=2,150m ・W=14m（車道7.0m、歩道3.5m×2）</li> </ul> <p>○工事請負費（道路改良工事費） 46,992 千円 工事施工延長 L=114.3m</p> <p>○公有財産購入費（A=13.25㎡） 477 千円</p> <p>○補償、補填及び賠償金（建物工作物等移転補償費） 1,262 千円</p> <p>（前年度繰越分）</p> <p>○工事請負費（道路改良工事費） 13,650 千円</p> <p>○公有財産購入費（土地購入費） 8,228 千円</p> <p>○補償、補填及び賠償金（建物工作物等移転補償費） 42,402 千円</p>
--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	113,011	151,320	95,252	△ 38,309
人件費	5,769	5,214	3,223	555
総事業費	118,780	156,534	98,475	△ 37,754
人員				
正職員	0.86 人	0.78 人	0.46 人	0.08 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.86 人	0.78 人	0.46 人	0.08 人
財源内訳				
国県支出金	65,010	85,012	42,625	△ 20,002
その他特定財源	44,500	62,900	44,900	△ 18,400
一般財源	9,270	8,622	10,950	648

5. 事業の目標値と実績等

評価指標	単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標		目標	97	75	76	67	58
独自指標	%	事業進捗	実績	75	76	62	58
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	92.5	100.0
	指標の説明						
指標	百万円	目標					
独自指標		事業費	実績	113	151	95	79
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の説明						
	目標設定がそぐわない指標のため実績のみ記載						
指標		目標					
		実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の説明						
指標		目標					
		実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の説明						
指標に基づく評価	国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。						

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
地元、地権者のほか、新幹線関連工事に伴う関係者などと協議しながら事業計画年度完了を目指しています。			
成果と改善点	令和元年度の事業について、予算どおり実施しました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	完了
方向性の理由	令和3年度完了予定です。

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大	事業	101	道路改良補助事業	中	事業	05	宮領北部線道路改良事業		
小	事業	01	宮領北部線道路改良事業					他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成	部局	建設課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
坂井町市街から国道8号や北陸自動車道丸岡IC並びにJR丸岡駅へのアクセスを容易にし、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。	
【事業の概要】	
・全体事業費 500,000千円	・事業年度 H28～R3
・全体延長 L=650m・W=14m（車道7.0m、歩道3.5m×2）	
○委託料	473 千円
○公有財産購入費（A=1505.59㎡）	16,144 千円
（前年度繰越分）	
○工事請負費（道路改良工事費）	128,480 千円
○公有財産購入費（土地購入費）	36,757 千円
（翌年度繰越）	
○工事請負費（道路改良工事費）	95,940 千円

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	181,854	12,890	0
	人件費	5,769	6,217	1,752
	総事業費	187,623	19,107	1,752
人員	正職員	0.86 人	0.93 人	0.25 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.86 人	0.93 人	0.25 人
財源内訳	国県支出金	91,619	4,320	
	その他特定財源	85,700	5,800	
	一般財源	10,304	8,987	1,752

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	事業費	百万円	目標					
			実績		182	12	0	8
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明		目標設定がそぐわない指標のため実績のみ記載					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
成果と改善点	関係機関との協議に不測の日数を要したため、翌年度に繰越を行い、事業推進に取り組んでいきます。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	完了
方向性の理由	令和3年度完了予定です。

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大	事業	101	道路改良補助事業			中	事業	10	上安田3号線道路改良事業
小	事業	01	上安田3号線道路改良事業			他 事業			

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成	建設課	
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
丸岡南中学校の通学路及びよつば保育園の送迎道路である上安田3号線の自転車歩行者道整備を行うことにより、生徒及び園児の安全確保を図る。	
【事業の概要】	
・全体事業費 400,000千円	・事業年度 H26～R2
・全体延長 L=974m・W=11m（車道7.5m、歩道3.5m）	
○工事請負費（道路改良工事費）	2,585 千円
工事施工延長 L=30m	
○公有財産購入費（A=806.60㎡）	15,157 千円
（前年度繰越分）	
○工事請負費（道路改良工事費）	65,225 千円
○公有財産購入費（土地購入費）	4,122 千円
○補償、補填及び賠償金（建物工作物等移転補償費）	1,047 千円
（翌年度繰越）	
○工事請負費（道路改良工事費）	100,000 千円

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	88,136	141,466	18,000	△ 53,330
	人件費	4,092	4,212	3,574	△ 120
	総事業費	92,228	145,678	21,574	△ 53,450
人員	正職員	0.61 人	0.63 人	0.51 人	△ 0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.61 人	0.63 人	0.51 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	49,038	76,814	9,650	△ 27,776
	その他特定財源	36,800	61,200	7,500	△ 24,400
	一般財源	6,390	7,664	4,424	△ 1,274

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	事業費	目標					
			実績		88	141	18	10
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		目標設定がそぐわない指標のため実績のみ記載						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標に基づく評価		国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。						

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
地元、地権者など関係者と協議しながら事業計画年度完了を目指しています。			
成果と改善点	令和元年度の事業について、予算どおりに実施しました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	完了
方向性の理由	令和3年度完了予定です。



令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	101	道路改良補助事業			中事業	11	沖布目森田線道路改良事業		
小事業	01	沖布目森田線道路改良事業						他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

<p><b>【事業の目的】</b>                  県道板倉高江線から森田北東部地区までの区間を整備することにより、福井市へのアクセスを円滑化し、春江東小学校及び春江中学校への通学路として自転車歩行者道の整備を図る。</p> <p><b>【事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体事業費 800,000千円 ・事業年度 H27～R6</li> <li>全体延長 L=800m ・W=14m（車道7.0m、歩道3.5m×2）</li> </ul> <p>○委託料（物件補償調査委託料） 432 千円</p> <p>○工事請負費（道路改良工事費） 21,032 千円                  工事施工延長 L=75m                  （前年度繰越分）</p> <p>○委託料（地質調査業務委託料） 6,246 千円</p> <p>○工事請負費（道路改良工事費） 13,455 千円</p> <p>○公有財産購入費（土地購入費） 21,302 千円</p> <p>○補償、補填及び賠償金（建物工作物等移転補償費） 22,056 千円                  （翌年度繰越）</p> <p>○工事請負費（道路改良工事費） 13,972 千円</p>
--

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	84,523	80,648	0	3,875
人件費	3,756	4,880	1,752	△ 1,124
総事業費	88,279	85,528	1,752	2,751
人員				
正職員	0.56 人	0.73 人	0.25 人	△ 0.17 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.56 人	0.73 人	0.25 人	△ 0.17 人
財源内訳				
国県支出金	58,484	23,633		34,851
その他特定財源	24,600	54,100		△ 29,500
一般財源	5,195	7,795	1,752	△ 2,600

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	事業費	目標					
			実績		85	80	0	11
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		目標設定がそぐわない指標のため実績のみ記載						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標に基づく評価		国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。						

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>課題はない</p>		
<p>地元、地権者など関係者と協議しながら事業計画年度完了を目指しています。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>関係機関との協議に不測の日数を要したため、翌年度に繰越を行い、事業推進に取り組んでいきます。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>完了</p>	
<p>方向性の理由</p>	<p>令和6年度完成予定です。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	151	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業			中事業	11	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業		
小事業	01	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業						他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-1	災害に強いまちづくりの推進	建設課	
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

令和元年度事業なし					
-----------	--	--	--	--	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	0	26,298	27,032	△ 26,298
	人件費	1,409	2,473	3,013	△ 1,065
	総事業費	1,409	28,771	30,045	△ 27,363
人員	正職員	0.21 人	0.37 人	0.43 人	△ 0.16 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.21 人	0.37 人	0.43 人	△ 0.16 人
財源内訳	国県支出金	0	25,919	25,919	△ 25,919
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,409	2,852	4,126	△ 1,444

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	防災道路の整備箇所	箇所	目標	1	0	1	1	1
			実績		0	1	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標	事業費	百万円	目標					
			実績		0	27	28	27
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		目標設定がそぐわない指標のため実績のみ記載						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標に基づく評価								

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
石油貯蔵施設立地対策等交付金事業年次計画により、令和2年度から4年度は浜四郷18号線の道路改良事業を実施していきます。			
成果と改善点	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業年次計画により令和元年度は事業はありませんでした。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	令和4年度完成予定です。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設費
大	事業	001	交通安全施設整備事業		中	事業	01	交通安全施設整備事業	
小	事業	01	交通安全施設整備事業						他 事業

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-2	安全・安心対策の充実		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	有	道路法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、あわせて交通の円滑化を図る。

【事業の概要】  
交通安全に資する工事（カーブミラー、ガードパイプ等）の実施と道路照明灯・防犯灯の維持管理を行う。

○需用費		31,652 千円
光熱水費（電気料）	21,653 千円	
修繕料	9,999 千円	
○役務費（火災保険料）		78 千円
○工事請負費		19,972 千円
・施設修繕及び改良箇所149箇所		
内訳		
道路照明・防犯灯	51箇所	
道路反射鏡	40箇所	
防護柵	22箇所	
視線誘導標	26箇所	
その他安全施設	10箇所	
（翌年度繰越）		
○工事請負費		18,200 千円
・交通安全施設整備工事費（未就学児等の交通安全対策）		

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	51,702	55,659	52,654	△ 3,957
人件費	5,098	3,476	5,956	1,622
総事業費	56,800	59,135	58,610	△ 2,335
人員				
正職員	0.76 人	0.52 人	0.85 人	0.24 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.76 人	0.52 人	0.85 人	0.24 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	10,447	0
その他特定財源	7,500	6,300	8,100	1,200
一般財源	49,300	52,835	40,063	△ 3,535

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	市内交通事故死亡数	人	目標	0	0	0	0	0
独自指標			実績		2	3	6	5
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明		市内交通事故における死亡人数					
独自指標	交通安全施設の修繕件数	件	目標	150	150	150	150	145
			実績		149	129	146	141
			達成率(%)	0.0	99.3	86.0	97.3	97.2
指標	指標の説明		交通安全施設の修繕件数					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	道路における交通環境の改善に努めていきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			道路施設の点検義務化により、点検費用とそれに伴う修繕等の費用の増加が懸念されます。
成果と改善点	交通安全施設の改修、維持修繕により、防災、交通安全対策上の生活圏の環境改善を図りました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	道路照明・防犯灯やカーブミラー等の安全施設の維持管理は、交通安全につながる重要な事業であり、道路パトロール実施での早期発見、修繕により、安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	03	河川費	目	01	河川総務費
大事業	051	河川事業			中事業	01	河川事務事業		
小事業	01	河川事務事業						他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-1	災害に強いまちづくりの推進		建設課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
河川の適正な利用及び正常な機能の維持等を総合的に進めていくことで、災害の発生防止、河川環境の維持向上を図る。

【事業の概要】  
磯部川、片川のポンプ場の管理、河川堤防の草刈、河川浚渫等を行うことにより、安心・安全で快適な河川環境づくりを推進する。

- 賃金（臨時職員、水門管理人） 1,612 千円
- 需用費 356 千円
  - 消耗品費 99 千円
  - 光熱水費（電気料） 257 千円
- 委託料 2,449 千円
  - 水門管理委託料 90 千円
  - 河川維持管理委託料 2,359 千円
- 工事請負費（河川浚渫工事費） 1,988 千円
- 原材料費 13 千円
- 負担金 865 千円
- 補助金 地域をつなぐ河川環境づくり推進事業補助金 2,510 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	9,793	10,318	16,478	△ 525
	人件費	1,409	3,142	4,765	△ 1,733
	総事業費	11,202	13,460	21,243	△ 2,258
人員	正職員	0.21 人	0.47 人	0.68 人	△ 0.26 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.21 人	0.47 人	0.68 人	△ 0.26 人
財源内訳	国県支出金	3,670	3,625	4,541	45
	その他特定財源	1,160	2,010	2,112	△ 850
	一般財源	6,372	7,825	14,590	△ 1,453

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	河川に関する苦情件数	件	目標		0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	河川管理委託料	千円	目標	2,662	2,700	2,811	2,811	1,065
			実績		2,449	1,419	1,934	1,090
			達成率(%)		0.0	90.7	50.5	68.8
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								

指標に基づく評価  
河川管理施設の適正な維持管理に努めていきます。

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>有効性に課題</p>			<p>近年の豪雨等により、河川氾濫等の大規模な浸水被害等が全国各地で相次ぐ中、市の管理する河川の維持管理が今後重要となってくるため、計画的に浚渫などを行い、従前の河川断面を回復させ、河道の有する流下能力を十分確保しながら、治水効果を維持していく必要があります。</p>
<p>成果と改善点</p>	<p>河川管理施設の維持管理を計画的に行いました。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		